

記者発表資料
 令和3年9月21日
 疾病・感染症対策課感染症対策班
 担当：高橋・我妻
 電話：022-211-2632

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の発生等について

今般、宮城県内におきまして、新たに7名（16022～16028例目）の新型コロナウイルス感染症患者が確認されました。患者の概要は以下のとおりです。

1 新規患者の概要

(1) 居住地

白石市		角田市		蔵王町		七ヶ宿町		大河原町	
村田町		柴田町		川崎町		丸森町		塩竈市	
多賀城市	5	松島町		七ヶ浜町		利府町		名取市	
岩沼市		亘理町		山元町		富谷市		大和町	
大郷町		大衡村		大崎市	2	加美町		色麻町	
涌谷町		美里町		栗原市		登米市		石巻市	
東松島市		女川町		気仙沼市		南三陸町		県外	
合計									7

(2) 年代・性別

10歳未満		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代		100代		合計			
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
1		1	1					1	1	1				1										5	2

(3) 職業

会社員	3	会社役員		公務員		団体職員		パート		アルバイト	1
自営業		学生	3	未就学児		無職		非公表		調査中	

(4) 感染経路

濃厚接触者	5	検査対象者	1	感染経路不明	1
-------	---	-------	---	--------	---

※濃厚接触者・・・陽性患者と密接な接触があった者

※検査対象者・・・濃厚接触者以外で、保健所が検査が必要と判断した者

(5) 症状

あり	6	なし	1	調査中	
----	---	----	---	-----	--

(6) 療養状況

入院中		療養中		調整中	7
-----	--	-----	--	-----	---

2 療養者数等の状況

(本日15時時点)

計 (うち仙台市)		療養中									療養終了	死亡
		入院						宿泊療養	自宅療養	入院・療養先調整中 ※0内は当日分		
		うち感染症指定医療機関	うち入院協力医療機関	その他医療機関								
患者	県	6,095人	154人	48人	18人	30人	0人	84人	15人	7人(7人)	5,891人	50人
	仙台市	9,916人	259人	64人	9人	55人	0人	108人	79人	8人	9,594人	63人
	合計	16,011人	413人	112人	27人	85人	0人	192人	94人	15人	15,485人	113人
その他	県	7人	欠番 (744例目, 1196(市800)例目, 4298例目, 4688(市3050)例目, 5163(市3377)例目, 5605(市3677)例目, 6373(市4144)例目, 6504(市4240)例目, 7640(市4903)例目, 8991(市5651)例目, 9028(市5678)例目, 9929例目, 12016(市7427)例目, 12963例目, 13354例目, 14103例目, 15577例目)									
	仙台市	10人										
	合計	17人										
総数	県	6,102人										
	仙台市	9,926人										
	合計	16,028人										

※「死亡」は死亡後に新型コロナウイルスが検出された者も含まれます。

3 病床の使用状況 (本日15時時点)

(1) 確保病床の状況

〈全県〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	496床	54床
入院者数 (使用病床数)	112人	13人
使用率	22.6%	24.1%

〈仙台医療圏〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	315床	39床
入院者数 (使用病床数)	89人	11人
使用率	28.3%	28.2%

※確保病床・・・各医療機関から報告のあった現時点で確保している病床

※入院者数(使用病床数)は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

※本日の病床数：496床(感染症指定医療機関：244床, 入院協力医療機関：252床)

(2) 受入可能病床の状況

〈全県〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	247床	26床
入院者数 (使用病床数)	112人	13人
使用率	45.3%	50.0%

〈仙台医療圏〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	137床	18床
入院者数 (使用病床数)	89人	11人
使用率	65.0%	61.1%

※受入可能病床・・・対応人員や入退院の状況により実際に各医療機関が当日に受入可能な病床

※入院者数(使用病床数)は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

4 変異株の確認状況（本日15時時点）

L452Rの変異がある変異株の確認状況（県分）

(A) 陽性患者数 (5/29～9/20判明分)	(B) スクリーニング件数 (B/A)	(N) 判定不能	(C) L452R陽性 (C/(B-N))
2,789件	1,366件 (49.0%) ※本日追加 1件	59件 ※本日追加 0件	1,188件 (90.9%) ※本日追加 1件

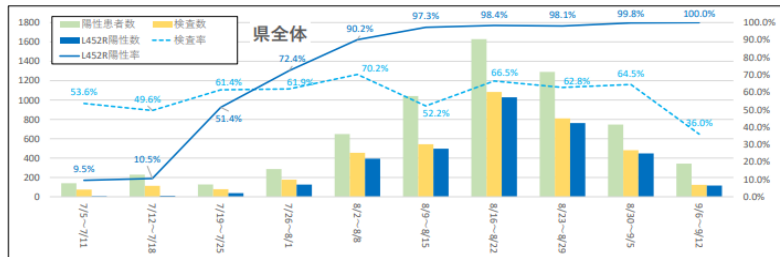
このほか、陽性判明日が5月28日以前の検体3件を検査しておりますが、L452R変異株は確認されていません。

県民へ感染対策の強化の呼びかけ

東北医科薬科大学医学部 賀来満夫特任教授など
宮城県感染症アドバイザリーボードの専門家のご意見をもとに作成

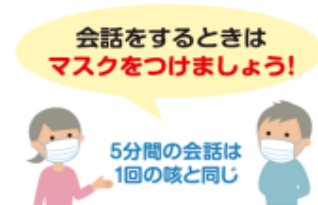
- 宮城県内では、**変異株L452R（デルタ株と疑われる変異株）の感染が拡大**し、ほぼ従来株から置き換わっている
- 変異株L452Rは非常に感染力が強く、**従来の感染対策では不十分**

※9/6～9/12の陽性患者のうち、検査を行った123件の100.0%の116件がL452R（判定不能7件除く）



感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ① 会話の際には**1.9メートルの距離**をとり、会話の**時間は短く**する
※従来は1～1.5メートル。相手との距離を十分にとる
- ② 必ず**不織布のサージカルマスク**を着用する
※ウレタンや布のマスクは感染予防効果が低い



- ③ **こまめに換気**をする
 ※家庭用エアコンで換気はできない
 冷房をしても定期的に換気をする
 2箇所の窓を開け、扇風機で空気の流れをつくり、常時換気することが望ましい



- ④ 速やかに**ワクチン**を接種する
 ※高齢者のワクチン接種は概ね完了
 次は若年者がワクチン接種を



ワクチン2回接種後も、感染予防対策は必要です!!
 感染者のうち、約6%の*ブレイクスルー感染がわかっています。

*ブレイクスルー感染とは、ワクチン2回接種後、2週間以上経って発症（感染）している方を集計しています。

感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ⑤感染者が増加しているときは、**普段会わない人（家族以外の人）と会うのは避ける**
 ※最近会っていなかった友人や知人、初めて会う人との接触はできるだけ減らす
 休日のそうした行動で感染しているケースが多く、休日後の感染拡大につながっている
 リモートでのコミュニケーションを積極的に取り入れる



最近の感染の傾向1

感染の中心は20代～40代
 家庭を持つ働き盛りの年代が感染し、
家庭内や職場で感染を広げる事例が増えている



対策① 家庭内感染の防止

- ・帰宅時の手洗いの徹底
- ・タオルを共用しない
- ・静かに食事をする。料理はできるだけ小分けにする
- ・こまめに換気をする など

対策② テレワークの推進

※職場内で感染を広げないよう、
 できるだけテレワークで感染防止



最近の感染の傾向 2

保育施設や児童関連施設での感染と思われる事例が増えている

主な感染対策

①窓を開けての定期的な換気(※)、②手洗いの徹底、③手が触れた場所の消毒の徹底、④体調がすぐれない場合の早めの受診などの感染対策を徹底しましょう。特に、室内で多くの子どもたちが集まる場合には、こまめな換気が重要です。

※定期的な換気とは

2方向の窓を開け、数分程度の換気を1時間に2回程度行うことが有効です。窓が1つしかない場合は、部屋のドアを開けて、扇風機などを窓の外に向けて設置すると効果的です。



エアロゾル感染とは

エアロゾルとは、空気中の小粒子や飛沫が浮遊している状態のこと

- ・咳で約700個/回、くしゃみで約4万個/回発生
- ・気管挿管や喀痰吸引等の医療処置ではさらに多く発生

ウイルスが回り込んで来る可能性あり
アクリル板を過信しないで!

マスク着用と換気が重要!!

